

令和2年度 事業報告書(案)

〔 自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日 〕

令和2年4月に新型コロナウイルスの感染拡大により発出された緊急事態宣言を受け、当財団は、同年4月10日から5月末日までの間、当財団主催レースをはじめとする大会、イベント、会員走行および貸し切りなど全ての営業を取りやめ、約2か月間におよび自粛休業とした。

休業期間中は、殆んど収入を得ることができず、また先行きを見通すことができぬ状況において、従業員に対して自宅待機を指示し、雇用調整助成金、事業持続化給付金などの政府支援策を活用、雇用維持に努めると共に、コロナ禍に於ける事業再開を目指した。

営業再開後は、感染予防対策を徹底するため、従業員には、日々の検温、マスク着用の義務付けなど健康管理に努めた。全てのお客様にマスク着用、ソーシャルディスタンス保持などの基本的感染防止対策に加え、検温、問診票の提出などをお願いし、水際対策を強化した。

また、各大会、イベントについては、基本的感染予防対策、水際対策の徹底と共に、規模縮小、無観客、観客数の人数制限などを行い可能な限り開催した。

その他、密対策として、ライセンス講習会参加定員の人数制限、ドライバーズミーティング等の実施方法の変更、接触機会を減らすためレースリザルトの配布を取りやめスマホ対応にするなど、お客様に安全にご参加いただくための施策を行った。

施設面では、アルコール消毒の設置、接客窓口やドライバーズサロンの飲食テーブルにはアクリル板を設置、室内換気対策として換気扇の増設などを行った。

収入面では、昨年後半から徐々に回復傾向となったが、約2か月間におよんだ休業の影響は大きく、昨年度に比べ約2億円の減収となった。

各実施事業内容は、以下のとおりである。

1. 公益目的支出計画に関する事業

(1) オートスポーツ愛好者に筑波サーキットの走行を提供する事業

多くのオートスポーツ愛好者に筑波サーキットでの走行を楽しんでいただくことにより、オートスポーツの普及を図るため次の事業を行った。

① ライセンス講習会の開催

新たに筑波ライセンスの取得を希望する者に対し、ライセンス講習会を39回開催し、受講修了者に筑波サーキットライセンスを交付した。ライセンス交付者の内訳は、

4輪 653名（対前年度比 21.8%増）、2輪 493名（対前年度比 10.2%減）であった。

② 筑波ライセンス会員等の管理

筑波ライセンス会員等の更新や退会手続き、新規会員の入会手続き等会員に関する全般の対応及び管理を行った。

なお、令和2年度末におけるライセンス所持者は、以下のとおり。

a. コース2000 (単位：人)

種 別	2 輪 車	4 輪 車	計
筑波ライセンス会員	2,333 (3.1%減)	1,523 (5.4%増)	3,856 (0.1%増)
ファミリー限定ライセンス会員	1,190 (2.7%増)	2,163 (6.4%増)	3,353 (5.0%増)
合 計	3,523 (1.2%減)	3,686 (6.0%増)	7,209 (2.3%増)

b. コース1000 (単位：人)

ミニバイクライセンス会員	2 輪 車 (ミニバイクのみ)	456 (10.9%増)
--------------	-----------------	--------------

() の%は対前年度比

③ 筑波ライセンス会員等の走行の実施

筑波サーキットコース2000及びコース1000において、筑波ライセンス会員等のスポーツ走行を行った。

走行実績の内訳は、コース2000 4輪延 10,867台（対前年度比 1.4%減）、2輪延 23,642台（対前年度比 13.8%減）。コース1000 4輪延 3,868台（対前年度比 11.1%増）、2輪延 4,958台（対前年度比 19.6%減）であった。

(2) オートスポーツ大会の開催事業

サーキット走行の理論及び日頃の研鑽結果を発揮する場として2輪競技大会を開催するとともに、大会開催の告知をオートスポーツ愛好者等に広く行い観戦を募った。

大会の参加台数は 862台(対前年度比 57.7%減)、観客入場者数は 6,200人（対前年度比 81.4%減）であった。

- ① 全日本ロードレース選手権 1戦2日間 中止
- ② 筑波ロードレース選手権 2戦2日間 2戦中止
- ③ 筑波ツーリスト・トロフィー 2戦2日間 1戦中止
- ④ テイスト・オブ・ツクバ 1戦2日間 1戦中止、1戦無観客
- ⑤ 筑波耐久ロードレース 耐久茶屋 1戦1日間

大会参加台数、観客入場数ともに大幅な減少となったが、これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全日本ロードレース選手権、筑波ロードレース選手権第2戦、筑波ツーリストトロフィーin April、テイスト・オブ・ツクバ SATSUKI の4大会が中止となり、テイスト・オブ・ツクバ KAGURAZUKI が無観客開催となった。さらに筑波ロードレース選手権第4戦は台風14号のため中止となった。

(3) オートスポーツの普及に関する広報事業

オートスポーツの面白さ、楽しさ及び筑波サーキットを多くの人々に紹介するための

広報活動を行った。

① インターネットのホームページ

筑波サーキットの公式サイト（ホームページ）により、施設案内、レース及びイベントの開催情報、ライセンス会員募集案内、会員走行案内、コース貸切情報、動画配信、筑波サーキットの天気や路面状況などを WEB カメラによりリアルタイムに伝えるなど多くの情報を迅速かつ適切に提供を行った。また、YouTube などの映像素材を通してサーキットの迫力あるシーンの提供、Twitter や Facebook による情報提供などによりサービスの向上並びにオートスポーツの普及に努めた。

② 筑波ライセンス会員等への情報提供

スポーツ走行、ファミリー走行のスケジュール情報を随時更新するとともに、年間レースカレンダーを発行した。また、会員特典として主なレース観戦の優待割引を実施した。

③ 東京モーターサイクルショーでの広報活動

毎年3月に東京有明ビックサイトで行われる「東京モーターサイクルショー」において専用ブースを設け、出展を行ってきたが、今年度も昨年度に引き続きコロナウイルス感染拡大により中止となった。

(4) オートスポーツの安全思想啓発のための各種スクールの実施及び安全走行のための指導事業

オートスポーツを多くの人に安心して楽しんでもらうために、サーキット走行の安全指導のためのスクールを開催した。

今年度は、コロナウイルス感染拡大の影響を受け開催回数が削減となった。

① 親子ミニバイク教室

オートバイの楽しさ面白さを体験しながら親子のコミュニケーションを図るために小学生とその親を対象とした「親子ミニバイク教室」を3回開催した。(参加者 24 名)

② キッズ スクール

親子ミニバイク教室の経験者に対し、より操縦技術の向上を図るとともに集中力、バランス感覚などのスキルアップを目指した「ファーストキッズスクール」を3回、「セカンドキッズスクール」を1回開催した。(参加者 41 名)

③ サーキットアドバイザーによる指導

2輪車のサーキット走行初心者である「ファミリー走行ビギナークラス」において、2輪車のロードレース大会での豊富な経験を有するサーキットアドバイザーにより、走行マナー、ルール、マシン点検などの説明を事前に行うとともに、実際の走行時には適宜並走を行うなど状況に応じたアドバイスを行い安全走行の啓発に努めた。

④ 体験走行会

サーキットへより一層の親近感を持ってもらうことを主眼に、自分の車両でサーキットを走行できる体験走行会を主催レース開催時に4回及びスポーツ走行開催日に7回実施した。参加実績は、主催レース開催時、4輪 46 台（前年度 52 台）、2輪 15 台（前年度 108 台）。スポーツ走行開催日、4輪車 74 台（前年度 163 台）、2輪車 59

台（前年度 97 台）であった。

なお、今年度はコロナウイルス感染拡大の影響もあり、事前申し込み、並びに定員数を設け実施した。

⑤ 4 輪ドライビングスクールの開催

サーキット走行未経験者から本格的にサーキット走行を楽しみたい方を対象とし、プロのインストラクターによる指導・アドバイスを行いモータースポーツの楽しさを実感して頂ける「ワクドキドライビング サーキットを走ろう」をトヨタ自動車（株）と連携し年 2 回開催した。参加者は 57 名であった。

2. その他の実施事業

(1) 施設の貸出に関する事業

① コース 2000 及びコース 1000

従来と同様にロードレース大会、走行会、試乗会、テスト走行、高速運転訓練等のために貸出した。貸出時間数はコース 2000 690 時間（対前年度比 32.0%減）、コース 1000 961 時間（対前年度比 28.2%減）であった。

② ジムカーナ場

ジムカーナ愛好者による競技大会、練習会等のため貸出した。貸出時間数は 2,054 時間（対前年度比 8.5%減）であった。

③ 500m 競走路、整備工場及び宿泊棟の敷地

公益財団法人 JKA に賃貸した。

④ 体育館

公益財団法人 JKA 及び周辺住民のスポーツ活動や文化活動のために貸出した。

(2) 施設の整備に関する事業

① コース 2000 第 2 ヘアピン路面改修工事

コース 2000 第 2 ヘアピンの進入から立ち上がりの部分が経年劣化により路面が傷んできているため、既存部分のアスファルトを切削廃棄し、新に舗装を行った。

② コース 2000 走路内整備工事

走行により傷んだ縁石、内線・外線・スタートグリッドのラインの補修、ホームストレッチのコンクリートウォールなど路面整備を広範囲行い、お客様が安心して走行できるように努めた。

③ コース 1000 調整池の排水ポンプの交換工事

台風等の大雨時にコース内の水はけのために設けている調整池の排水ポンプが設置後 20 年を経過しているため新しく入れ替えた。

④ ガードレールの 3 段化

コース 2000 の更なる安全対策の一環として、継続的にガードレールの 3 段化工事を行っているが、今年度においては最終コーナーのイン側（ピットロード入口）の約 100m 区間において既存（2 段）のガードレールを撤去したのち、新たに 3 段ガードレールを設置した。

⑤ 新型コロナウイルス感染防止対策を行った。

お客様が安心して来場できるように感染予防の対策を施した。

- ・ 室内換気のための換気扇の増設
- ・ ドライバーズサロンにアクリル板の設置
- ・ 消毒液の設置

⑥ その他

ゴミ箱の新設、場内の緑化及び植栽保持並びにサーキット内の美化清掃に努めた。

附 属 明 細 書

特に記載すべき重要な事項はありません。